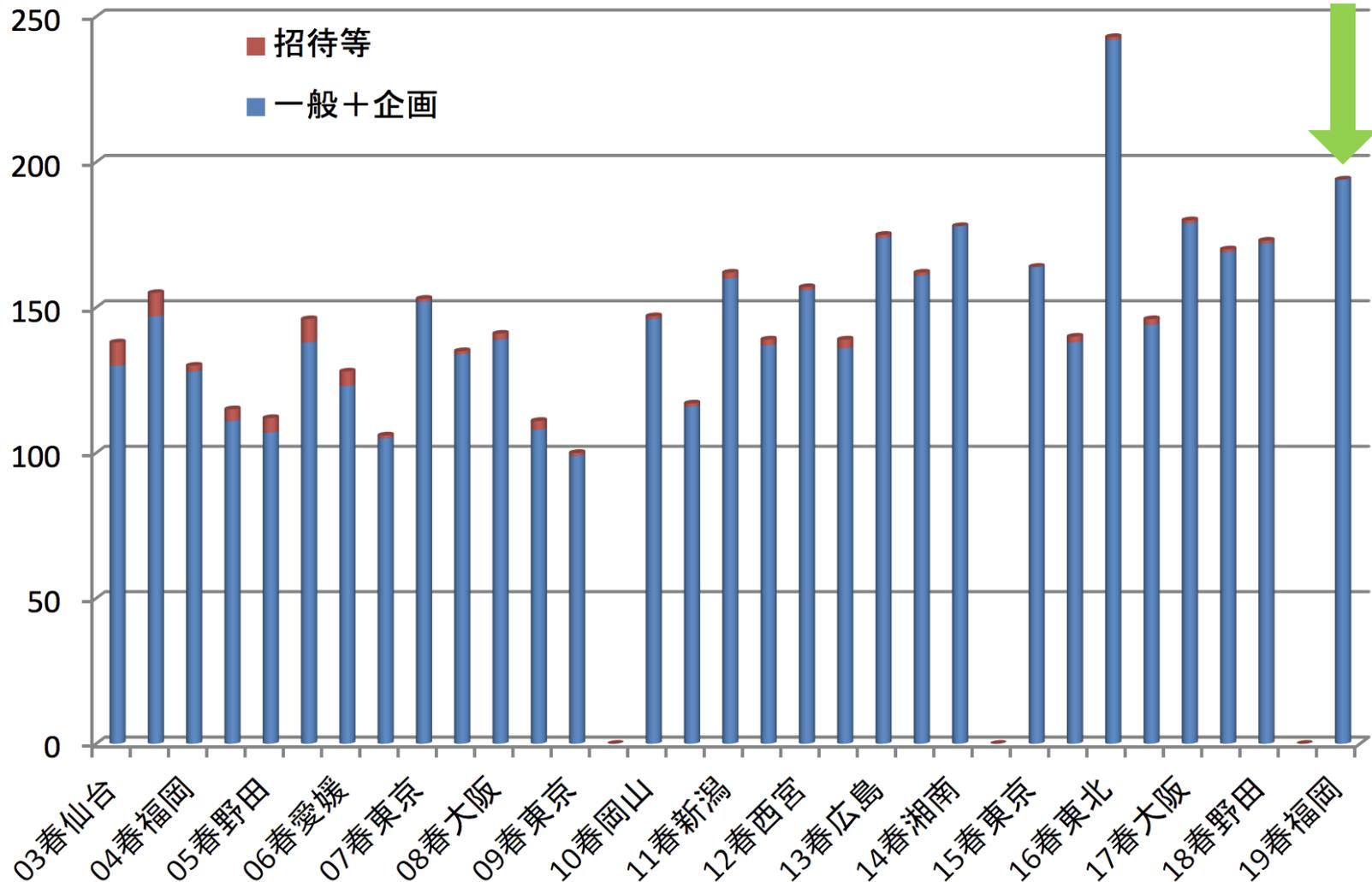


# 実験核物理 領域運営委員報告

新山 雅之（京産大）2018/04 – 2019/03  
今井 伸明（東大CNS）2018/10 – 2019/09

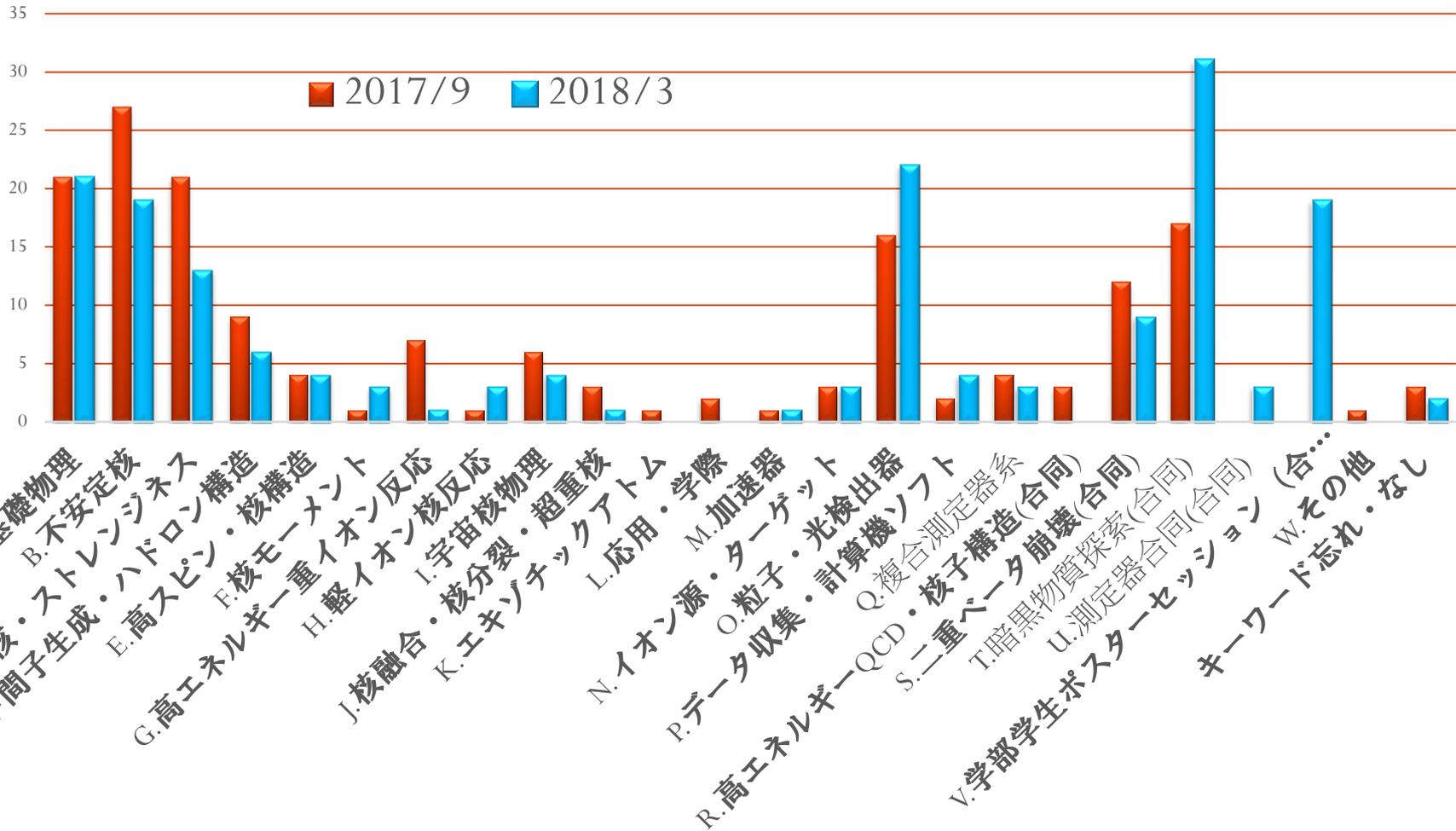
# 講演数推移

一般+企画講演 187件



(\*) 11春新潟は、東日本大震災のため中止

# 一般講演申込 第一キーワード

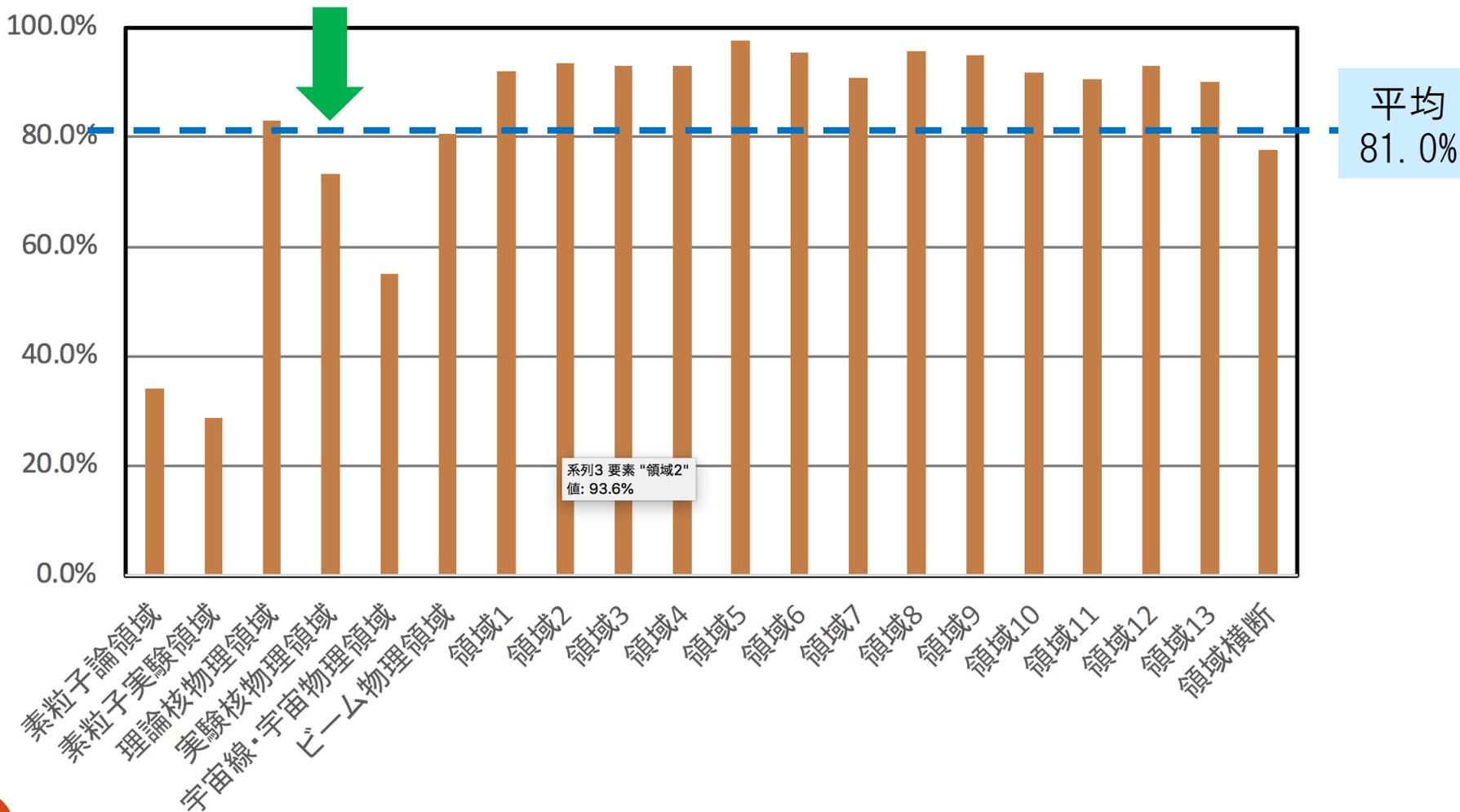


U. 測定器 (合同) は、秋は素粒子実験主催

R. 高エネQCD・核子構造 (合同) は、春は素粒子実験主催

# 概要集提出率

今回 : 実験核 73% (理論核 83%)  
 前回 : 実験核 71% (理論核 69%)  
 前々回 : 実験核 67% (理論核 65%)



# シンポジウム・招待・チュートリアル・企画講演

## □ 核物理プログラム委員会にて審議（領域委員会へ）

- 実験： 関口・野海・川畑 + 新山・今井
- 理論： 宇都野・肥山・佐々木 + 北沢・古本

## ● 招待講演 なし

## ● チュートリアル講演 1件 実験核、理論核、素粒子実験、素粒子論

- 柴田利明氏(日大理工)「陽子と中性子のクォーク・グルーオン構造 ー スピンはどのように作られているかー」

## ● 受賞講演

- 核談新人賞3名(ハワイ学会(秋)のため持ち越されたもの)
- 若手奨励賞実験3名、理論2名

# シンポジウム・招待・チュートリアル・企画講演

- 実験核が関わるシンポジウム 9件（**実験核主領域3件**）
  - 「**極端条件における量子現象 - 宇宙・物質・生命 -**」  
実験核、理論核、宇宙
  - 「**Korea-Japan symposium on unstable nuclei and nuclear astrophysics**」  
実験核、理論核、宇宙
  - 「**魔法数から見る核構造研究**」  
実験核、理論核
  - 「**宇宙観測と地上実験の協奏による素粒子標準模型の超越**」  
素粒子実験、実験核、宇宙、ビーム
  - 「**素粒子と原子物理の融合が拓く新たなミュー粒子物理のフロンティア**」  
素粒子実験、素粒子論、実験核、ビーム物理、領域1、領域10
  - 「**ニュートリノで拓く素粒子と宇宙**」  
素粒子実験、宇宙、実験核
  - 「**機械学習と物理**」  
素粒子論、領域04、領域03、領域08、領域11、理論核物理
  - **計算物理学への誘い**  
領域12、素粒子論、理論核、宇宙線・宇宙物理、領域01、領域02

# インフォーマルミーティング

今回申し込みのアナウンスが不十分で申し訳ありませんでした。  
重複を避けるために事前の情報交換が必要です。申請後に**運営委員**  
**員へ受付確認メールを転送**して下さい。

## 実験核・理論核 関係

- 3月14日 昼 宇宙核物理連絡協議会
- 晩 高温・高密度 QCD 物質オープンフォーラム  
          ハドロンホールユーザー会 (HUA)  
          RIBF User Group Town Meeting
- 3月15日 昼 停止・低速不安定核ビーム同好会
- 晩 核物理委員会  
          FPUA (Fundamental Physics Using Atoms) 連絡会議
- 3月16日 昼 原子核研究編集委員会
- 晩 原子核談話会総会

# 領域運営委員からのお願い・反省点など

- **講演キーワードは必ず指定**してください。原則的に第一キーワードで**セッションが決まります**。
- 海外からの研究者(ハドロン系)が素粒子実験に申し込み、プログラム編集後に実験核に変更する事例が2件ありました。共同研究者が一言伝えておいて頂けるとありがたいです。
- 連続講演を希望する場合は、必ずその旨を講演申し込み時に入力するか、連続講演申請書を提出してください。
- 講演申込領域が春・秋で異なるセッションがあります。**募集要項を確認**してください。
- 合同セッションを希望する際は**合同先の領域名**を指定して下さい。
- 合同セッションについては次で報告／議論したいことがあります。
- 学会事務局から**座長の依頼が来たら、速やかに可否を回答**してください。
- 一般-シンポや実験-理論の間で同じ分野の講演時間帯が重ならないよう配慮しましたが、不具合が生じた点につきましてはお詫び申し上げます。

# 合同セッションについて（1）

- J-PARCの加速器・測定器技術
  - 春の年次大会でのみ開かれる。
  - 「大強度加速器・測定器の技術」とセッション名を変更した。
  - 合同セッションを続けるかは様子を見て決める。
  - しばらく様子見でいいでしょうか？

## 大強度加速器・測定器の技術（合同）

- 1 J-PARCリニアックにおけるエネルギー変動観測と補正  
原子力機構/J-PARC  
守屋克洋, 原田寛之
- 2 カーボンナノチューブファイバーを用いた大強度3 MeV H-ビーム用パンチシェイプモニター  
JAEA/J-PARC, KEK/J-PARC<sup>A</sup>  
北村遼, ニツ川健太<sup>A</sup>, 林直樹, 平野耕一郎, 宮尾智章<sup>A</sup>, 守屋克洋, 根本康雄, 小栗英知
- 3 J-PARC RCSにおける荷電変換薄膜から放出される二次粒子測定  
原子力機構/J-PARC  
吉本政弘, 岡部晃大, 原田寛之, 金正倫計
- 4 J-PARC MRアップグレードのための入射用電磁石の開発(4)  
KEK  
芝田達伸, 石井恒次, 杉本拓也, 松本教之, 松本浩
- 5 GeV級大強度重イオン加速計画  
原子力機構J-PARC  
原田寛之
- 6 T2K 実験のためのJ-PARC MR陽子ビーム大強度化に向けた16電極ビームモニターの開発と較正  
京大理, 高工研<sup>A</sup>  
田島正規, 外山毅<sup>A</sup>, 小関忠<sup>A</sup>, 中家剛, 他T2Kグループ
- 7 T2K実験におけるJ-PARCニュートリノビームモニタに用いるエレクトロニクス性能評価  
東理大理工, KEK素核研<sup>A</sup>  
福田涼, 石塚正基, 坂下健<sup>A</sup>, Megan Friend<sup>A</sup>, 濱田英太郎

# 合同セッションについて（2）

## ● 核子構造

- 素粒子実験との合同セッション（理論も入ることが多い）  
春は素粒子実験主催、秋は実験核主催
- 講演者を見ると、核物理側の講演者が占める。（今回は全て）
- 1年前の核談総会では「もう1年様子を見て、変わらなければ合同セッションをやめる。」という議論だった。
- 合同セッションをやめてよいでしょうか？
- ご意見をお寄せください。

# 合同セッションについて（3）

## ● 測定器(合同)

- 素粒子実験との合同セッション。
- 素粒子実験から合同セッション解消の提案がありました。
- 講演者を見ると、素粒子実験側の講演者が占めている。
- 事実上、素粒子実験の単独セッションなので、合同セッションをやめてよいでしょうか？とのことです。
- 2019年秋は合同セッションありです。2020年春以降についての議論です。
- ご意見をお寄せください。

# 実験核物理領域運営委員履歴・提案

	4月～翌3月	10月～翌9月
2019年	村松憲仁(東北大ELPH)	
2018年	新山雅之(京産大)	今井伸明(東大CNS)
2017年	谷田聖(原子力機構)	前田幸重(宮崎大)
2016年	高橋仁(KEK)	伊藤正俊(東北大CYRIC)
2015年	中野健一(東工大)	吉見彰洋(岡山大)
2014年	三輪浩司(東北大)	矢向謙太郎(東大CNS)
2013年	宮地義之(山形大理)	上野秀樹(理研)
2012年	山口貴之(埼玉大理工)	村田次郎(立教大理)
2011年	関口仁子(東北大院理)	佐藤進(原研)

<http://www.ne.div.jps.or.jp/index.html>

- 任期1年
- 分野・地域に偏りが生じないように
- 本会の承認を経て委員を物理学会に報告

	4月～翌3月	10月～翌9月
2019年	村松憲仁(東北大)	推薦: 坂口聡志(九大理院)
2018年	新山雅之(京産大)	今井伸明(東大CNS)
2017年	谷田聖(原子力機構)	前田幸重(宮崎大)
2016年	高橋仁(KEK)	伊藤正俊(東北大CYRIC)
2015年	中野健一(東工大)	吉見彰洋(岡山大)
2014年	宇都宮弘章(甲南大理)	浜垣秀樹(東大CNS)
2013年	野呂哲夫(阪大RCNP)	岩崎雅彦(東工大理)
2012年	阪口篤志(阪大理)	田中万博(高工研)
2011年	能町正治(阪大RCNP)	家城和夫(立教大理)
2010年	延与秀人(京大理)	清水肇(山形大理)
2009年	今里純(高工研)	藤原守(阪大RCNP)
2008年	柴田利明(東工大理)	山屋堯(東北大理)

# 今後の学会予定

2019年		
秋季大会 山形大学	2019/9/17～20	[素核宇]
秋季大会 岐阜大学	2019/9/10～13	[物性]
2020年		
第75回 年次大会 名古屋大学	2020/3/16～19	
秋季大会 筑波大学	2020/9/14～17	[素核宇]
秋季大会 熊本大学	2020/9/1～4	[物性]